

ご存知ですか？ カラスのこと

● **実は2種類いる？**

一見同じように見えますが、実はたくさんの種類があります。苦小牧市では、普段2種類のカラスを見ることができます。

ハシブトカラス	ハシボンカラス
頭が盛りあがる	頭がなだらか
声はアーアーカーカー(にこらない)	声はギャーギャーガーガー(にこる)
くちばし太い	くちばし細い

● **どうして襲ってくるの？**

カラスは実は人を怖いと思っています。

ただし子育てのときだけは、大事なわが子を守るために「怖いけど、やらなくちゃ！」という気持ちでの行動と考えられています。

卵のある巣や、まだうまく飛べないヒナに不用意に近づくと、「近寄るな！」とばかりに、いかくしてきます。



● **襲ってくる時期は？**

カラスは4月頃に巣作りを始め、6～7月頃、ヒナが巣から出始める時期が最も神経質になります。(ただし積極的に襲ってくるというわけではありません)

いかに行動は、このようにエスカレートしてくるよ！

- Level1 近くにどまって鳴く(警告する)
- Level2 電線や枝をガツガツ突いたり小枝や葉っぱを落とす(強めに鳴く)
- Level3 相手をロックオン、さらに近くを飛び回る
- Level4 背後から蹴ってくる

※個体により差があります。

● **襲ってきたらどうするの？**

急に騒ぎ出したカラスを見る

蹴るときに翼が当たってしまうのを嫌がります

- ヒナを見つけた場合はなるべく近寄らない。
- 急に騒ぎ出したカラスを無視せず、目を向けて『存在に気付いている』ことをカラスに知らせる。
- 手を垂直に上げつつ、速やかにその場を離れる。(飛行の邪魔をすることで攻撃されにくくなります)

※傘など棒状のものを持つことも有効とされていますが、効果は個体により差があります。

★ 他にもあるよ ～豆知識～

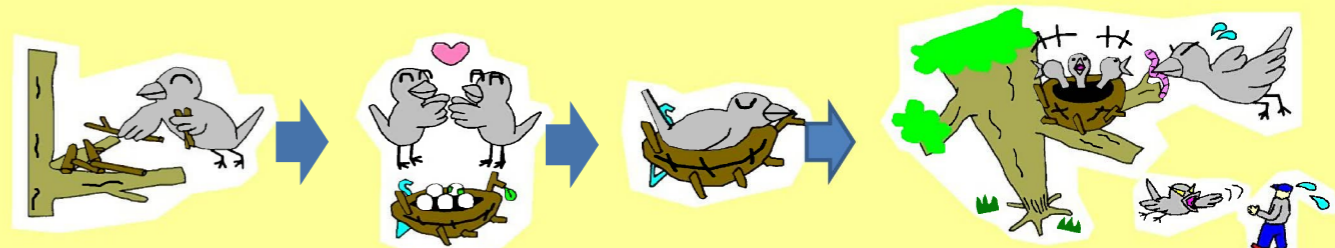
揚げ物、脂分が大好物みたいです。フライドポテトやマヨネーズは容器ごと持っていくことも。

カシャカシャ シャシャシャ と鳴くよ！

街中でもよく見られるこの鳥はカラスに似ていますが、カササギという鳥です。体の一部が白く、羽や尾は青緑色っぽくも見えます。

巣から出たばかりのヒナは、フラフラと歩き回り、危険な目に合うことが多いです。両親はヒナが自力でエサをとれるようになるまでは丁寧に面倒を見ますが、それでも車道に出ていってしまうこともあり注意が必要です。

● 巣づくりからヒナが巣立つまでどれくらい？



これくらいの目安となります。(※個体差、気象条件等によって幅があります。)

【巣づくり】	3月下旬～4月頃	【巣にヒナがいる】	4月～6月頃
【産卵・抱卵】	4月～5月頃	【ヒナが巣から出る】	6月～7月頃
【ふ化】	4月～6月頃		

ヒナは巣から出る頃になると、見た目は親とほぼ一緒です。それどころか親がエサを運んでくれるため、親より大きく太っているものもいます。(※ヒナは口の中が赤く、大人になるにつれて真っ黒になります) 「あのカラス全然鳴かないな」「人が近づいてもあんまり反応しないな」・・・というカラスは巣から出たばかりのヒナかもしれません。(あんまり近づくと親が来るかも！?)

● 死んじゃったカラス(野鳥)をたまに見かけるけど？

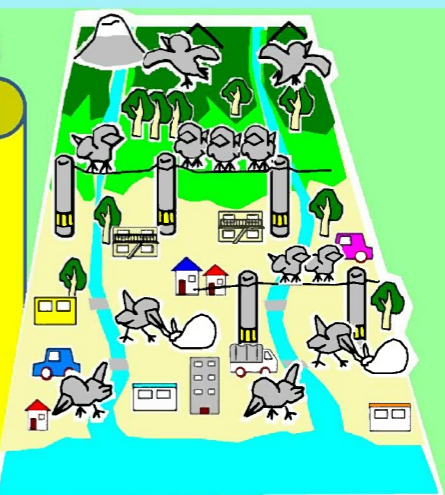
- 車両との交通事故
- 壁や窓ガラスへの激突
- 電線等への接触による感電

これらが街中での主な死因と考えられます。特に強風など悪天候になると、玄関フードや風除室、壁などに衝突しやすくなるようです。また、春～夏頃にかけてはヒナの死亡事故が大幅に増加しています。車を危険だと認識していないこともあるので、運転中はどうかご注意ください。

● 早朝お出かけ・夕方帰宅

群れで飛び回ったり、電柱にとまっている光景がよく見られます。これは、ねぐらのある山などから早朝に飛び立ち、夕方頃に帰ってくる途中で一休みしているところと考えられます。

たくさんいて怖いと感じられる方もいるかもしれませんが、人に危害を与えようといった攻撃性をもつ行動・習性ではありません。



★掲載している内容はカラスの生態のほんの一部であり、また、行動・習性には個体差があります。

★カラスは野生の生き物ですので、許可を得た方などを除き、傷をつけたり、捕獲することなどは原則禁止されています。

【お問合せ】

苦小牧市役所
環境衛生部環境生活課
0144(32)6331(直通)
0144(32)6111(代表)

★このパンフレットは、苦小牧市ホームページからダウンロード印刷できます。